

令和 4 年 度

盛岡市一般会計及び各特別会計
歳入歳出決算概要説明書

令和４年度盛岡市一般会計及び 各特別会計歳入歳出決算概要説明書

令和４年度盛岡市一般会計及び各特別会計の歳入歳出決算の概要について説明いたします。

最初に、一般会計歳入歳出決算について説明いたします。

当初予算額は、歳入歳出とも前年度比 7.4%増の 127,620,000,000 円でありましたが、新型コロナウイルス感染症に係る感染対策や経済対策に取り組むなど第 1 号から第 10 号までの補正が行われ、これに令和 3 年度からの繰越額（繰越明許費及び事故繰越し）を加えた最終予算現額は、歳入歳出とも 150,039,577,303 円となったものであります。

会計事務の執行に当たりましては、現金等の出納保管を正しく記録管理するとともに、歳出につきましては、法令、契約又は予算議決の趣旨に十分適合することを旨として執行しました。

この結果、決算額は、歳入総額が 139,345,495,410 円、歳出総額が 136,701,265,865 円となりましたので、歳入歳出差引額 2,644,229,545 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

また、この剰余金のうち令和 5 年度へ繰り越すべき財源は 907,724,192 円となっており、令和 4 年度の実質収支は 1,736,505,353 円となりました。

なお、令和 3 年度の実質収支は 1,540,398,183 円であったことから、令和 4 年度の単年度収支は 196,107,170 円となりました。

以上を、令和 3 年度の決算と対比して表示いたしますと、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	増 減
	円	円	円
1 予 算 現 額	150,039,577,303	149,064,494,691	975,082,612
2 歳 入 総 額 (A)	139,345,495,410	139,158,856,789	186,638,621
3 歳 出 総 額 (B)	136,701,265,865	136,656,507,778	44,758,087
4 歳 入 歳 出 差 引 額 (A)-(B) (C)	2,644,229,545	2,502,349,011	141,880,534
5 翌年度へ繰り越すべき財源 (D)	907,724,192	961,950,828	△54,226,636
6 当 年 度 実 質 収 支 (C)-(D) (E)	1,736,505,353	1,540,398,183	196,107,170
7 前 年 度 実 質 収 支 (F)	1,540,398,183	938,510,804	601,887,379
8 単 年 度 収 支 (E)-(F) (G)	196,107,170	601,887,379	△405,780,209
9 積 立 金 (H)	1,082,495,806	507,990,493	574,505,313
10 繰 上 償 還 金 (I)	2,660,863	2,266,273	394,590
11 積 立 金 取 崩 し 額 (J)	3,102,925,988	64,922	3,102,861,066
12 実 質 単 年 度 収 支 (G)+(H)+(I)-(J) (K)	△1,821,662,149	1,112,079,223	△2,933,741,372

以下、歳入と歳出とに分けて、その概要を説明いたします。

まず、歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 150,039,577,303	円 149,064,494,691	円 975,082,612	% 0.7
調 定 額	140,507,993,264	140,363,664,248	144,329,016	0.1
収 入 済 額	139,345,495,410	139,158,856,789	186,638,621	0.1
不 納 欠 損 額	81,576,665	91,792,898	△10,216,233	△11.1
収 入 未 済 額	1,106,893,830	1,141,546,631	△34,652,801	△3.0
収 入 率	% 99.2	% 99.1	—	0.1

(率は、小数点第2位を四捨五入で表示。次表以下同じ。)

調定額 140,507,993,264 円に対し、収入済額が 139,345,495,410 円でありましたので、収入率(調定額に対する収入済額の比率をいう。以下同じ。)は 99.2%で令和3年度に比較し 0.1 ポイント高くなっております。

不納欠損額は、81,576,665 円ですが、その主なものは、市税の 57,294,522 円であります。内訳は、市民税 27,133,548 円、固定資産税 24,339,610 円、軽自動車税 2,752,791 円、都市計画税 3,068,573 円となっております。

収入未済額は、1,106,893,830 円となっておりますが、その主なものは、市税の 744,538,656 円であります。

その他の収入未済額の主なものは、次のとおりであります。

第14款分担金及び負担金では、第1項第2目第2節児童福祉施設運営費負担金で 13,977,830 円あります。

第15款使用料及び手数料では、第1項第7目第8節住宅使用料で 29,165,790 円あります。

第18款財産収入では、第1項第1目第1節市有土地貸付収入で 18,615,395 円あります。

第22款諸収入では、第6項第2目第1節雑入中の生活保護費返還金で 270,906,761 円あります。

歳入の確保につきましては、鋭意努力してまいりましたが、以上のような結果になりました。

なお、収入未済額については、引き続き徴収に努めております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 150,039,577,303	円 149,064,494,691	円 975,082,612	% 0.7
支 出 済 額	136,701,265,865	136,656,507,778	44,758,087	0.0
翌年度繰越額	8,500,704,958	9,962,873,303	△1,462,168,345	△14.7
不 用 額	4,837,606,480	2,445,113,610	2,392,492,870	97.8
執 行 率	% 91.1	% 91.7	—	△0.6

予算現額 150,039,577,303 円に対し、支出済額が 136,701,265,865 円でありましたので、執行率（予算現額に対する支出済額の比率をいう。以下同じ。）は、91.1%で令和 3 年度に比較し 0.6 ポイント低くなっております。

翌年度繰越額は、8,500,704,958 円で、不用額は、4,837,606,480 円となっております。不用額の主なものは、次のとおりであります。

第 3 款民生費第 1 項第 1 目第 18 節負担金、補助及び交付金の 3,129,104,716 円は、住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業において助成対象世帯数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 3 款民生費第 2 項第 2 目第 18 節負担金、補助及び交付金の 204,648,643 円は、認定こども園等運営費給付事業において施設型給付費の実績が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 4 款衛生費第 3 項第 3 目第 12 節委託料の 182,262,461 円は、新型コロナウイルス感染症対策の各種事業において、実績が見込みを下回ったことなどによるものであります。

第 8 款土木費第 2 項第 2 目第 12 節委託料の 179,082,797 円は、道路除排雪事業において、除雪委託の回数が見込みを下回ったことなどによるものであります。

以上が歳出の概要であります。令和 4 年度は、令和 3 年度に比較し、収入済額が 186,638,621 円、支出済額が 44,758,087 円、それぞれ増加しました。

この間において、歳計現金の運用により生じた利子収入は、10,302,849 円であります。

なお、財政調整基金には、地方財政法の規定に基づくもののほか、当該基金の運用収入も合わせ、1,082,495,806 円を積み立てました。

次に、特別会計であります、会計事務の執行に当たりましては、一般会計と同様の配慮の下に執行いたしました。

まず、歳入についてであります、全ての特別会計における合計額は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	58,872,710,000	59,221,614,000	△348,904,000	△0.6
調 定 額	59,855,732,678	60,132,551,040	△276,818,362	△0.5
収 入 済 額	58,560,121,356	58,731,447,785	△171,326,429	△0.3
不 納 欠 損 額	112,317,179	137,208,625	△24,891,446	△18.1
収 入 未 済 額	1,196,389,248	1,288,153,122	△91,763,874	△7.1
収 入 率	% 97.8	% 97.7	—	0.1

調定額 59,855,732,678 円に対し、収入済額が 58,560,121,356 円でありましたので、収入率は、97.8%で令和3年度に比較し 0.1 ポイント高くなっております。

次に、歳出の合計額は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	58,872,710,000	59,221,614,000	△348,904,000	△0.6
支 出 済 額	58,208,623,297	58,212,289,887	△3,666,590	0.0
不 用 額	664,086,703	1,009,324,113	△345,237,410	△34.2
執 行 率	% 98.9	% 98.3	—	0.6

予算現額 58,872,710,000 円に対し、支出済額が 58,208,623,297 円でありましたので、執行率は、98.9%で令和3年度に比較し 0.6 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 58,560,121,356 円に対し、支出済額は、58,208,623,297 円でありましたので、差引残額 351,498,059 円は、剰余金として令和5年度へ繰り越しております。

以下、特別会計ごとに、その概要を説明します。

初めに、公設浄化槽事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 11,950,000	円 10,623,000	円 1,327,000	% 12.5
調 定 額	11,952,672	10,646,040	1,306,632	12.3
収 入 済 額	11,956,844	10,646,040	1,310,804	12.3
収 入 未 済 額	0	0	0	0
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 11,952,672 円に対し、収入済額が 11,956,844 円でありましたので、収入率は、令和 3 年度と同率の 100.0%となっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 11,950,000	円 10,623,000	円 1,327,000	% 12.5
支 出 済 額	11,761,647	10,503,932	1,257,715	12.0
不 用 額	188,353	119,068	69,285	58.2
執 行 率	% 98.4	% 98.9	—	△0.5

予算現額 11,950,000 円に対し、支出済額が 11,761,647 円でありましたので、執行率は、98.4%で令和 3 年度に比較し 0.5 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 11,956,844 円に対し、支出済額は、11,761,647 円でありましたので、差引残額 195,197 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

次に、農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	503,378,000	488,576,000	14,802,000	3.0
調 定 額	511,796,406	496,144,064	15,652,342	3.2
収 入 済 額	503,563,129	488,565,050	14,998,079	3.1
不 納 欠 損 額	817,312	663,379	153,933	23.2
収 入 未 済 額	7,474,231	6,949,867	524,364	7.5
収 入 率	% 98.4	% 98.5	—	△0.1

調定額 511,796,406 円に対し、収入済額が 503,563,129 円でありましたので、収入率は、98.4%で令和 3 年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	503,378,000	488,576,000	14,802,000	3.0
支 出 済 額	502,157,894	488,322,010	13,835,884	2.8
不 用 額	1,220,106	253,990	966,116	380.4
執 行 率	% 99.8	% 99.9	—	△0.1

予算現額 503,378,000 円に対し、支出済額が 502,157,894 円でありましたので、執行率は、99.8%で令和 3 年度に比較し 0.1 ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 503,563,129 円に対し、支出済額は、502,157,894 円でありましたので、差引残額 1,405,235 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

次に、母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 55,956,000	円 56,355,000	円 △399,000	% △0.7
調 定 額	264,139,427	234,626,037	29,513,390	12.6
収 入 済 額	105,271,189	75,097,141	30,174,048	40.2
収 入 未 済 額	158,878,348	159,542,140	△663,792	△0.4
収 入 率	% 39.9	% 32.0	—	7.9

調定額 264,139,427 円に対し、収入済額が 105,271,189 円でありましたので、収入率は、39.9% で令和 3 年度に比較し 7.9 ポイント高くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 55,956,000	円 56,355,000	円 △399,000	% △0.7
支 出 済 額	23,446,594	22,164,294	1,282,300	5.8
不 用 額	32,509,406	34,190,706	△1,681,300	△4.9
執 行 率	% 41.9	% 39.3	—	2.6

予算現額 55,956,000 円に対し、支出済額が 23,446,594 円でありましたので、執行率は、41.9% で令和 3 年度に比較し 2.6 ポイント高くなっております。

不用額は、32,509,406 円となっており、貸付額が見込みを下回ったことによるものであります。

以上のとおり、収入済額 105,271,189 円に対し、支出済額は、23,446,594 円でありましたので、差引残額 81,824,595 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

次に、国民健康保険費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 25,528,657,000	円 26,251,075,000	円 △722,418,000	% △2.8
調 定 額	26,242,824,972	27,212,124,804	△969,299,832	△3.6
収 入 済 額	25,224,929,276	26,078,122,040	△853,192,764	△3.3
不 納 欠 損 額	83,559,087	105,019,446	△21,460,359	△20.4
収 入 未 済 額	938,179,366	1,034,295,034	△96,115,668	△9.3
収 入 率	% 96.1	% 95.8	—	0.3

調定額 26,242,824,972 円に対し、収入済額が 25,224,929,276 円でありましたので、収入率は、96.1%で令和 3 年度に比較し 0.3 ポイント高くなっております。

第 1 款第 1 項国民健康保険税は、第 1 目一般被保険者国民健康保険税と第 2 目退職被保険者等国民健康保険税を合計した調定額 5,759,471,808 円に対し、収入済額は、4,748,920,338 円で、収入率は、82.5%となり、令和 3 年度に比較し 1.0 ポイント高くなっております。

なお、第 1 目と第 2 目のそれぞれの収入状況は、次のとおりであります。

第 1 目一般被保険者国民健康保険税は、調定額 5,744,482,876 円に対し、収入済額は、4,747,571,911 円で、収入率は、82.6%、第 2 目退職被保険者等国民健康保険税は、調定額 14,988,932 円に対し、収入済額は、1,348,427 円で、収入率は、9.0%となっております。

不納欠損額は、83,559,087 円で、令和 3 年度に比較し 21,460,359 円減少しております。主なものは、第 1 款国民健康保険税の 82,834,415 円で、令和 3 年度に比較し 21,392,993 円の減少となっております。

収入未済額は、938,179,366 円で、令和 3 年度に比較し 96,115,668 円減少しておりますが、引き続き徴収に努めております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	25,528,657,000	26,251,075,000	△722,418,000	△2.8
支 出 済 額	25,093,636,027	25,874,539,767	△780,903,740	△3.0
不 用 額	435,020,973	376,535,233	58,485,740	15.5
執 行 率	% 98.3	% 98.6	—	△0.3

予算現額 25,528,657,000 円に対し、支出済額が 25,093,636,027 円でありましたので、執行率は、98.3%で令和3年度に比較し 0.3 ポイント低くなっております。

不用額は、435,020,973 円となっておりますが、その主なものは、第2款保険給付費第1項療養諸費において予定した一般被保険者療養給付費が見込みを下回ったことによるもの 263,927,830 円などであります。

なお、国民健康保険事業財政調整基金に、651,316 円を積み立てました。

以上のとおり、収入済額 25,224,929,276 円に対し、支出済額は、25,093,636,027 円でありましたので、差引残額 131,293,249 円は、剰余金として令和5年度へ繰り越しております。

次に、介護保険費特別会計歳入歳出決算であります、歳入は、次表のとおりであります。

年 度 区 分	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	27,192,524,000	27,621,514,000	△428,990,000	△1.6
調 定 額	27,330,458,019	27,465,196,737	△134,738,718	△0.5
収 入 済 額	27,248,152,632	27,373,779,656	△125,627,024	△0.5
不 納 欠 損 額	27,426,980	31,236,300	△3,809,320	△12.2
収 入 未 済 額	61,138,407	66,394,381	△5,255,974	△7.9
収 入 率	% 99.7	% 99.7	—	0.0

調定額 27,330,458,019 円に対し、収入済額が 27,248,152,632 円でありましたので、収入率は、令和3年度と同率の 99.7%となっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

年 度 区 分	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	27,192,524,000	27,621,514,000	△428,990,000	△1.6
支 出 済 額	27,118,172,199	27,118,567,134	△394,935	0.0
不 用 額	74,351,801	502,946,866	△428,595,065	△85.2
執 行 率	% 99.7	% 98.2	—	1.5

予算現額 27,192,524,000 円に対し、支出済額が 27,118,172,199 円でありましたので、執行率は、99.7%で令和3年度に比較し 1.5 ポイント高くなっております。

不用額は、74,351,801 円となっておりますが、その主なものは、第2款保険給付費において利用実績が見込みを下回ったことによるもの 51,478,802 円などであります。

以上のとおり、収入済額 27,248,152,632 円に対し、支出済額は、27,118,172,199 円でありましたので、差引残額 129,980,433 円は、剰余金として令和5年度へ繰り越しております。

次に、後期高齢者医療費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	3,583,035,000	3,349,842,000	233,193,000	7.0
調 定 額	3,488,272,174	3,261,127,744	227,144,430	7.0
収 入 済 額	3,477,545,793	3,262,819,627	214,726,166	6.6
不 納 欠 損 額	513,800	289,500	224,300	77.5
収 入 未 済 額	13,132,381	10,704,317	2,428,064	22.7
収 入 率	% 99.7	% 100.1	—	△0.4

調定額 3,488,272,174 円に対し、収入済額が 3,477,545,793 円でありましたので、収入率は、99.7%で令和 3 年度に比較し 0.4 ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
	円	円	円	%
予 算 現 額	3,583,035,000	3,349,842,000	233,193,000	7.0
支 出 済 額	3,471,609,801	3,255,797,046	215,812,755	6.6
不 用 額	111,425,199	94,044,954	17,380,245	18.5
執 行 率	% 96.9	% 97.2	—	△0.3

予算現額 3,583,035,000 円に対し、支出済額が 3,471,609,801 円でありましたので、執行率は、96.9%で令和 3 年度に比較し 0.3 ポイント低くなっております。

不用額は、111,425,199 円となっておりますが、その主なものは、第 2 款後期高齢者医療広域連合納付金において納付金の支払額が見込みを下回ったことによるもの 106,171,147 円などでありま

す。
以上のとおり、収入済額 3,477,545,793 円に対し、支出済額は、3,471,609,801 円でありましたので、差引残額 5,935,992 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

次に、中央卸売市場費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 1,359,715,000	円 1,279,867,000	円 79,848,000	% 6.2
調 定 額	1,368,319,515	1,289,253,809	79,065,706	6.1
収 入 済 額	1,350,855,700	1,279,089,826	71,765,874	5.6
収 入 未 済 額	17,463,815	10,163,983	7,299,832	71.8
収 入 率	% 98.7	% 99.2	—	△0.5

調定額 1,368,319,515 円に対し、収入済額が 1,350,855,700 円でありましたので、収入率は、98.7%で令和3年度に比較し0.5ポイント低くなっております。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 1,359,715,000	円 1,279,867,000	円 79,848,000	% 6.2
支 出 済 額	1,350,500,843	1,279,068,204	71,432,639	5.6
不 用 額	9,214,157	798,796	8,415,361	1,053.5
執 行 率	% 99.3	% 99.9	—	△0.6

予算現額 1,359,715,000 円に対し、支出済額が 1,350,500,843 円でありましたので、執行率は、99.3%で令和3年度に比較し0.6ポイント低くなっております。

以上のとおり、収入済額 1,350,855,700 円に対し、支出済額は、1,350,500,843 円でありましたので、差引残額 354,857 円は、剰余金として令和5年度へ繰り越しております。

次に、新産業等用地整備事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 609,902,000	円 148,347,000	円 461,555,000	% 311.1
調 定 額	609,898,498	148,283,544	461,614,954	311.3
収 入 済 額	609,898,498	148,283,544	461,614,954	311.3
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 609,898,498 円に対し、収入済額が 609,898,498 円でありましたので、収入率は、令和 3 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 609,902,000	円 148,347,000	円 461,555,000	% 311.1
支 出 済 額	609,898,498	148,283,544	461,614,954	311.3
不 用 額	3,502	63,456	△59,954	△94.5
執 行 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

予算現額 609,902,000 円に対し、支出済額が 609,898,498 円でありましたので、執行率は、令和 3 年度と同率の 100.0%であります。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 609,898,498 円でありましたので、差引残額は、ありません。

次に、土地取得事業費特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 14,130,000	円 12,660,000	円 1,470,000	% 11.6
調 定 額	14,609,006	12,395,501	2,213,505	17.9
収 入 済 額	14,486,306	12,292,101	2,194,205	17.9
収 入 未 済 額	122,700	103,400	19,300	18.7
収 入 率	% 99.2	% 99.2	—	0.0

調定額 14,609,006 円に対し、収入済額が 14,486,306 円でありましたので、収入率は、令和 3 年度と同率の 99.2%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 14,130,000	円 12,660,000	円 1,470,000	% 11.6
支 出 済 額	13,977,805	12,291,196	1,686,609	13.7
不 用 額	152,195	368,804	△216,609	△58.7
執 行 率	% 98.9	% 97.1	—	1.8

予算現額 14,130,000 円に対し、支出済額が 13,977,805 円でありましたので、執行率は、98.9%で令和 3 年度に比較し 1.8 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額 14,486,306 円に対し、支出済額は、13,977,805 円でありましたので、差引残額 508,501 円は、剰余金として令和 5 年度へ繰り越しております。

次に、東中野財産区特別会計歳入歳出決算であります、歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 13,335,000	円 2,677,000	円 10,658,000	% 398.1
調 定 額	13,334,861	2,675,698	10,659,163	398.4
収 入 済 額	13,334,861	2,675,698	10,659,163	398.4
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 13,334,861 円に対し、収入済額が 13,334,861 円でありましたので、収入率は、令和3年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和4年度	令和3年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 13,335,000	円 2,677,000	円 10,658,000	% 398.1
支 出 済 額	13,334,861	2,675,698	10,659,163	398.4
不 用 額	139	1,302	△1,163	△89.3
執 行 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

予算現額 13,335,000 円に対し、支出済額が 13,334,861 円でありましたので、執行率は、令和3年度と同率の 100.0%であります。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 13,334,861 円でありましたので、差引残額は、ありません。

最後に、東中野、東安庭、門財産区特別会計歳入歳出決算であります。歳入は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 128,000	円 78,000	円 50,000	% 64.1
調 定 額	127,128	77,062	50,066	65.0
収 入 済 額	127,128	77,062	50,066	65.0
収 入 率	% 100.0	% 100.0	—	0.0

調定額 127,128 円に対し、収入済額が 127,128 円でありましたので、収入率は、令和 3 年度と同率の 100.0%であります。

次に、歳出は、次表のとおりであります。

区 分 \ 年 度	令和 4 年度	令和 3 年度	比 較	
			金 額	率
予 算 現 額	円 128,000	円 78,000	円 50,000	% 64.1
支 出 済 額	127,128	77,062	50,066	65.0
不 用 額	872	938	△66	△7.0
執 行 率	% 99.3	% 98.8	—	0.5

予算現額 128,000 円に対し、支出済額が 127,128 円でありましたので、執行率は、99.3%で令和 3 年度に比較し 0.5 ポイント高くなっております。

以上のとおり、収入済額、支出済額とも 127,128 円でありましたので、差引残額は、ありません。

以上で、一般会計及び各特別会計における令和 4 年度決算の概要についての説明を終わります。

なお、決算書のほか、地方自治法第 233 条第 5 項の規定に基づき、決算書の附属書類として歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書を提出しております。